

市町村職員研修機関所長等連絡会議

昨年11月20日、市町村職員中央研修所において、公益財団法人全国市町村研修財団（以下「財団」という。）主催による「市町村職員研修機関所長等連絡会議」が開催されました。

この会議は、財団と各都道府県広域研修機関及び各都道府県市町村振興協会との連携、研修内容の充実について話し合い、研修機関相互の情報交換を図るとともに、平成30年度の研修計画等の広報を行うことを目的に開催されたもので、全国各地から50名の皆様にご参加いただきました。



岩尾常務理事あいさつ

財団の岩尾隆常務理事の開会あいさつに続き、第1部では、最初に、財団が全国の市町村を対象に継続実施している、人材育成基本調査の結果概要について説明がありました。具体的には、市町村における最重要課題や、市町村の関心科目などについて紹介されました。

続いて、平成30年度の財団の研修計画について市町村職員中央研修所（以下「市町村アカデミー」という。）と全国市町村国際文化研修所（以下「国際文化アカデミー」という。）の両研修所から説明がありました。

まず、市町村アカデミーにおいては、市町村からのニーズの高い法務や税に係る研修に加え、多様化する地域の課題などに対応した専門研修などを実施する旨の説明が、また、国際文化アカデミーにおいては、地方の創生に向けて多様な課題を解決するための研修のさらなる充実を図るとともに、事前学習のうえ、アメリカ・ヨーロッパ・アジアを实地調査する3つの海外研修について、平成30年度は8月下旬から9月頃に実施することとし、最新の情報をホームページ等でお伝えしていく旨の説明がありました。

第2部では、最初に、巡回アカデミーの実施状況等について説明がありました。巡回アカデミーとは、財団の両研修所での研修受講が困難な地域の市町村の職員等を対象に、両研修所で実施している専門的なカリキュラムを短期研修として、当該地域の広域研修機関と連携して提供するものです。

まず、昨年7月に、市町村アカデミーが岡山県市町村振興協会研修センターとの共催で実施した「これからの時代の子育て支援」の研修概要と「近距離で精神的負担が軽く参加しやすかった」「著



名な講師の講義を聞くことができた」などの参加者の声について報告されるとともに、共催者である岡山市町村振興協会研修センターから実施した感想を述べていただきました。その後、今年度の巡回アカデミーは岡山のほか、平成29年11月28日から富山県で市町村アカデミーと共催で「地元の資源を生かした魅力ある地域づくり」をテーマに、平成30年2月20日から宮城県で国際文化アカデミーと共催で「地方公営企業法適用実務」をテーマに、それぞれ開催される予定であることが報告されました。

続いて、平成30年度巡回アカデミーについては、市町村アカデミーは高知県と大分県で、国際文化アカデミーは福岡県で開催する予定であることと、平成31年度巡回アカデミーの実施に向けたスケジュールについて報告がありました。

続いて、平成29年度市町村職員研修の実施状況等に関する調査結果の概要として、新規科目の傾向、市町村からの研修に対する要望等について説明がなされました。

続いて、岡山市町村振興協会研修センター及び大阪府市町村振興協会おおさか市町村職員研修センターから、それぞれの取組事例や特色のある研修手法などについて発表していただきました。

具体的には、まず、岡山県からは、階層別、職能別、セミナー等からなる研修事業、外部の研修機関に職員を派遣した市町村に対して助成する助成事業及びテーマ別に研究会を実施する調査研究事業の3つの事業について、また、大阪府からは、政策提言や情報発信を目的とし調査研究を行う「研究会」、約5か月間にわたり地域課題を解決していくための具体的な政策を立案し、政策提言をする「政策形成実践研修」などの取組事例について、発表していただきました。参加者から、他団体の取組を聞くことができ、大変参考になったという声がありました。